



ニュースレター

2024年（令和6年）6月5日 グリーフワークかがわ広報部

◆活動のご報告◆

昨年も皆様からのご寄付で沢山の事業を行う事ができました。
簡単ではありますが一部ご報告させていただきます。



2023年度グリーフワークかがわ公開セミナー

2023年10月11日15日・12月14日17日・2024年2月16日18日
丸亀町レッツカルチャールーム1・高松市男女共同参画センター第1学習室

例年公開セミナーは日曜日の午後の時間帯で開催されていましたが、ウィークデーにも開催してほしいという声を頂き、今年度は日曜の午後3回と平日の夜3回という開催となりました。



公開セミナーではグリーフワークについて初めての方にも分かり易く解説されており、グリーフワークとは特別な事ではなく日常生活で私たち自身の傍に常にあったものだという事を気づかせてくれます。講師を担当された新しく認定されたグリーフカウンセラーの皆さんがそれぞれの語り口で自身のグリーフワーク、グリーフケアについての思いを語られ、ワークショップやグループワークを交えて非常に充実した時間となりました。

第49回 2023年10月11日(水)【暮らしのなかのグリーフから考える自分らしく生きること】

講師：藤澤美江 グリーフワークかがわ認定カウンセラー・看護師

第50回 2023年10月15日(日)【初めてのグリーフワーク 大切な〇〇へ思いを込めて】

講師：石原志穂 グリーフワークかがわ認定カウンセラー・看護師

第51回 2023年12月14日(木)【色であらわすグリーフ～言葉にならない表現～】

講師：秋山 美智子 グリーフワークかがわ認定カウンセラー・真宗興正派 慈照寺 坊守

第52回 2023年12月17日(日)【グリーフケアとグリーフワーク】

講師：荻田 育代 グリーフワークかがわ認定カウンセラー

第53回 2024年2月16日(金)【葬儀・法事・・・そして再生へ】

講師：多田葉子 グリーフワークかがわ認定カウンセラー

浄土真宗本願寺派 信光寺 坊守



第54回 2024年2月18日(日)【私のグリーフあなたのグリーフ～それぞれの心の取扱説明書～】

講師：青木節子 グリーフワークかがわ認定カウンセラー

グリーフワークデー街頭キャンペーン 2024 年 3 月 10 日（日）11:00～12:00JR 高松駅前
今年度もグリーフワークの普及啓発を目的とした街頭キャンペーンが行われます。
街頭キャンペーンでご寄付頂いた分もテーマ募金の一部として計上されます。

3 月 11 日～16 日は子どものグリーフワーク週間 【子どもの声が聞こえますか？】



子ども時代に愛する人と死別する体験が、子どもの心に痛々しい影響を与えることについて、一人でも多くの方が理解を深める機会となるために設けられています。

他にも【身近な人をなくした方のグループミーティング】【喪失を経験した子どもの親・保護者のためのグループミーティング・ひまわりミーティング】を今年度も毎月開催することができ、多くの方へグリーフワークの場を提供できました。皆様のご寄付のお陰で私たちはグリーフワークの大切さを広く広めることが出来ています。大切な社会貢献の一つとして皆様から頂いたご寄付で今後も安心して悲しみ・気持ちを語り合える社会となるよう励みますのでどうぞ今後ともご協力を頂けますようお願い致します。

認定 NPO 法人グリーフワークかがわ
グリーフワークかがわ HP・ニュースレターページでも
今までの活動内容をご覧くださいませ→



(2023 年度共同募金助成事業完了報告書より抜粋)

④助成事業の内容

(事業実施の状況)

1 「喪失を経験した子どもの親・保護者のためのグループミーティング「ひまわりミーティング」

毎月一回(第1日曜日・年間 12 回), 喪失を経験した子どもを支援する立場にある親, 保護者のグループミーティングを行い, 子どもたちへの対応について話し合いを行うと共に子どもにも喪失経験があり, それを大切に受け止めるべきであると話し合った。

2 身近な人をなくした方のグループミーティング

子どものサポートをする人は往々にして本人も子どもと同時に喪失を経験している事を忘れがちである。喪失を経験した子どもを支援するためには, 関係者自身への支援も必要となり, 毎月一回(第2日曜日), 死別体験者の分かち合いのミーティングの場を開催した。

3 公開セミナー

10 月 11 日, 15 日, 12 月 14 日, 17 日, 2 月 16 日, 18 日計 6 回

「暮らしのなかのグリーフワーク」を大テーマに, 各回担当の認定カウンセラーがそれぞれのグリーフワークへの

想い、喪失に対する姿勢を自身の言葉でわかりやすく伝える事が出来た。グリーフワークというと特別な事のようにとらえられがちであるが、日常の中にあるものであり、我々が日々「心の作業」として行っていることであると気づいてもらえたかと思う。

4 グリーフワーク週間とグリーフワーク・デー

3月11日から16日を子どものグリーフワーク週間として広報を行い、今年度は3月10日に「子どもの声が聞こえていますか」をスローガンとしてJR高松駅まで街頭キャンペーンを行った。グリーフワーク週間の啓発チラシとアウェアネスリボンを配布した。

⑤助成事業の成果・効果

(事業実施により得られた成果・効果)

1 喪失を経験したこどもの親・保護者のためのグループミーティング【ひまわりミーティング】

参加人数のべ5名

昨年同様に参加人数は少ないが問い合わせは昨年よりあった。また技術援助での事業案内の後には個別に質問されたり声を掛けられる事が多く、このグループミーティングの必要性は確かにあると感じている。ただ、支援が必要な子どもに一番近い大人(=子どもを支えたいと強く思う人物)はその人自身も子どもと同時に喪失を経験している事が多く、なかなかグループミーティングに実際に参加するのは難しいようであるというのも明らかになってきた。今後は支援が必要な子どもから2番目の位置にある大人(学校関係者や地域の支援者など)へのグループミーティングの案内をピンポイントで行う必要があると感じる。子どもの喪失は見えづらいため、本グループミーティングのような場所は必要であり、今後も継続して開催する必要がある。

2 身近な人をなくした方のグループミーティング

参加人数のべ77名

今年度も定期的に分かち合いの場を提供することが出来た。認定グリーフカウンセラーがファシリテーターとなり、グリーフワークがその人のペースで進められることの保証がなされて、安心して自己に向き合える支援ができた。死別の対象、死因、背景はそれぞれ違っても、大切な人をなくしたということからピアカウンセリングの場となった。各行政機関からの紹介・問い合わせも年々増えてきており、本ミーティングの必要性を感じる。

3 公開セミナー

10月11日(水)

第49回「暮らしの中のグリーフから考える自分らしく生きること」

参加人数:13名

10月15日(日)

第50回「初めてのグリーフワーク 思いを込めて 大切な〇〇へ」

参加人数:6名

12月14日(木)

第51回「色で表すグリーフ・言葉にできない気持ち」

参加人数:15名

12月17日(日)～

第51回「グループワークとグリーフケアについて」

参加人数:10名

2月16日(金)

第53回「葬儀・法事・・・そして再生へ」

参加人数:15名

2月18日(日)

第54回「私のグリーフあなたのグリーフ～それぞれの心の取扱説明書～」

参加人数:8名

例年日曜日の日中のみの開催であったが、今年度は平日の夜の開催回もあった。結果として平日の夜の方が参加人数が多かったため今後の公開セミナーの開催の参考とする。ほぼ全回でグループワークやワークショップを取り入れ、一人だけで考えるというよりは意見交換をする中で自身の気持ちを探って行くという内容となり、参加者からは大変満足したという意見を多く頂くことが出来た。

4 グループワーク週間とグループワーク・デー街頭キャンペーン活動

3月11日から16日の子どものグループワーク週間について、ホームページ、メルマガ、チラシとアウエアネスリボン(バイオレットリボン)の配布により周知を行い、3月10日には「子どもの声が聞こえますか」と書いたパネルを掲げて、JR高松駅前街頭キャンペーンを行った。詳細は当法人のニュースレターに掲載している。

参加人数:キャンペーン当日8名(会員6名・一般2名)

「グループミーティング開催地追加に関するアンケート」調査報告 2023年度グループワークかがわ理事会

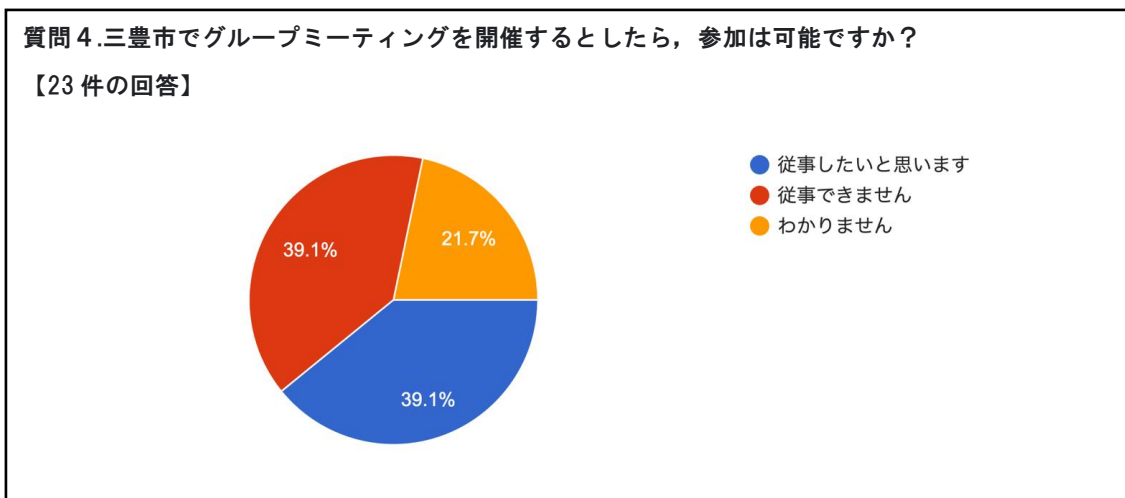
この調査は、当法人理事長が委員を務める三豊市自殺予防対策協議会において、三豊市でのグループミーティングの要望があったことから、当法人としての技術援助事業の観点から、グループミーティング開催地追加について意識を調査することを目的として実施したものである。なお、三豊市自殺予防対策協議会において、あくまでも要望、検討中の段階である。

実施期間は2024年2月16日～2月29日、googleFormを用いてWeb回答(無記名)でのアンケートを実施した。対象は2024年2月時点でメーリングリストに登録されている認定カウンセラー43名とした。

有効回答数は 23 名であった。

調査の結果、高松市内だけで開催されているグループミーティング（身近な人を失くした方のためのグループミーティングまたはひまわりミーティング）について、高松市以外の地域にも必要と感じているカウンセラーが多く、中でも西讃地域に必要との回答は 65.2%となった。理由としては「開催希望の声も聞く」「参加者が場所を選べる」「地域を広げグリーンワークかがわのことをもっと知ってもらいたい」などの声が聞かれた。

また、実際どの地域であれば参加できるか、との設問には西讃 30%、高松市内しか参加できないが 30%であった。実際に三豊市での開催となった場合、参加できると回答した認定カウンセラーは 9 名であった。



認定カウンセラーの皆様には、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

いただいたご意見につきましては、今後の事業やグループミーティングの運用に活かしていきたいと考えます。

◆2024 年 5 月 12 日 第 197 回理事会◆

《審議事項》

第 1 号議案4月の会計に関する事項

4 月末時点での会計について、財産目録及び、貸借対照表、活動計算書をもとに事務局からの報告を行い承認された。

第2号議案:2024 年度の事業計画に関する事項

2024 年度の事業計画及び 2023 年度の事業報告案について審議した。2024 年度事業計画について、養成講座・基礎コースは今年度も今一度プログラムの内容について見直す為に休講とし、ワーキンググループを立ち上げることから再構築することで承認された。公開セミナーは今年度は 5 回(10 月～2 月)の実施の予定とすることで承認された。

第3号議案:2024年度の役割分担に関する事項(継続審議)

2024年度の各事業の役割分担について、役割担当表をもとに審議し、承認された。

第4号議案:20回社員総会役割分担と準備について(継続審議)

今回の総会では定款変更は行わないこと、また通常総会の出席回答方法について、議決権が行使できるように委任状の書面を変更することで承認された。

第5号議案:ゲートキーパー養成研修(まんのう町福祉保険課地域包括支援センター室)への講師派遣に関する事項(資料有)

6月13日(木)まんのう町福祉保険課地域包括支援センター開催のゲートキーパー普及啓発事業へ認定カウンセラーを講師として推薦することで承認された。

第6号議案:香川県社協傾聴ボランティア養成講座講師派遣における講師選定に関する事項

9月13日(金)の同講座への講師について4名の認定カウンセラーを派遣する事で承認された。今後、内容について確認を行うため、技術援助担当理事を中心に講師会を中心に行う。

以上